

附属農場にて八重桜「尾張重（オワリガサネ）」が開花しました

春日井キャンパス・農学部附属農場の教育研究館が竣工された2016年3月24日、教育研究館前に植樹された八重桜「尾張重（オワリガサネ）」が開花しました。この「尾張重」は、農学部・植物保全学研究室に在籍された横内先生、卒業生の伊藤玄さん、研究室の学生らによって小牧市内の県有林で発見され、2014年に新品種として認められた桜になります。附属農場に植樹された苗木の一つが、今年初めて淡いピンク色の花を咲かせました。40cmほどだった苗木は、この2年間で200cmほどに生長し、綺麗な八重の花を咲かせています。



今年初めて開花した「尾張重」



植樹された「尾張重」と小笠原理事長



生長した「尾張重」



「尾張重」と教育研究館